歯科材料５　歯科用接着充填材料
管理医療機器　歯科用ポリカルボキシレートセメント　16705002

ハイ-ボンドライナー

【禁忌・禁止】
1）本材又はカルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメントに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
2）本材又はカルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメントに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
［構成］

構成	性状	成分
ハイーボンド ライナー粉	粉	酸化亜鉛、酸化マグネシウム、フルオロアルミノシリケートガラス粉、ＨＹ材、その他
ハイーボンド ライナー液	液	アクリル酸－トリカルボン酸共重合体水溶液、酒石酸

［原理］
酸化亜鉛、酸化マグネシウムとアクリル酸－トリカルボン酸共重合体水溶液との酸－塩基反応、及びフルオロアルミノシリシリケートガラスとアクリル酸－トリカルボン酸共重合体水溶液との酸－塩基反応により硬化する。

【使用目的、効能又は効果】
修復時の裏層材及び裏装材として用いる。

【品目仕様等】
JIS T 6609-1：2005　歯科用ウォータベースセメント-第１部：粉液型酸－塩基セメントに準拠する。

項目	仕様
硬化時間（min）	2～6
圧縮強さ（MPa）	50 以上
酸溶解性（mm）	0.40 以下
酸溶解性ひ素含有量（mg/kg）	2 以下
酸溶解性鉛含有量（mg/kg）	100 以下
Ｘ線造影性	同じ厚さの金属アルミニウムのＸ線造影性と少なくとも同等。

【操作方法又は使用方法等】
［操作方法］
1）粉液の採取（標準粉／液比は、1.6g／1.0g）
粉量計１杯分の粉に対して、液１滴を取ります。
2）練和
紙練板又はガラス練板上に採取した粉を 2 等分し、液の中へまず片方を加えて 15 秒間で練り、残りの粉を加えて均一に練り上げます。練和時間は 30 秒間です。
練和温度条件：23±1℃
練和時間　　：30 秒
操作時間　　：1 分 30 秒
硬化時間　　：2 分 30 秒
3）裏層（装)
乾燥した窩洞に練和物を手早く通法により裏層（装）を行います。完了後、約 3 分間その部位に唾液が触れないように保ち、硬化させます。
4）修正及び充填
硬化後、過剰の裏層（装）材は歯科用ダイヤモンドバー等で除去し、歯科充填用コンポジットレジン等の充填を通法により行います。

［使用方法に関連する使用上の注意］
1）粉の計量は付属の粉量計ですり切って採取すること。
2）液の滴下計量は、容器を逆さにし気泡を抜いてから行うこと。
3）正しい計量のために、液容器のノズルに付着した液は、湿ったガーゼなどで拭き取ること。
4）粉及び液の容器は、使用後すぐに密栓すること。特に粉は、湿気に触れないように注意すること。
5）粉液の多少の計量誤差や室温によって粘稠度が変ることもあり、練和時の練り上がり稠度で調整を行なうこと。
6）露髄又は、歯髄に極めて近い症例などには、水酸化カルシウム製剤などで歯髄を保護しておくこと。

【使用上の注意】
1）使用注意
①本材は、【使用目的、効能又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
②本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
2）重要な基本的注意
①本材の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
②本材の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
③液又は練和物は、口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着した場合には、すぐにアルコール綿などで拭った後流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】
［貯蔵・保管方法］
・直射日光、高湿度を避け室温（1～30℃）で保管すること。
・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

［使用期限］
本材は、包装に記載の使用期限※までに使用すること。
［記載の使用期限は当社データによる。］

※（例 YYYY－XX は→使用期限 YYYY 年 XX 月末日を示す。）

【包装】
［単品包装］
1）粉：15g（粉量計付）
2）液：10g

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】
製造販売元　　株式会社　松風
住所　　〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町１１
電話番号　　075-561-1112

製造元　　株式会社　松風